

広島 議員空白の安芸高田市で「つどい」 大平議員 綱領を縦横に語り、入党の訴え

12月4日、広島県委員会は議員空白の安芸高田市で「つどい」を開催しました。党の地方議員もいない同市で、現職の国会議員による「つどい」ははじめてのことです。

「つどい」には、大平喜信衆議院議員が50分間、日本共産党の綱領にそって米軍機の低空飛行訓練に抗議もしない政府の態度など国会報告を交えながら縦横に語りました。参加者からは、「私の年金はこれからどうなるのか」「共産党に入ったら何かノルマのようなものがあるのか」など、さまざまな質問もだされました。

大平議員は、こうした質問にたいねいにこたえつつ、入党のよびかけをしました。

地方整備局・農政局・環境事務所などと交渉・・・中国ブロック



中国ブロックでは、各県の政府交渉と併せて各地の議員・支部による「国の出先機関交渉」に取り組んでいます。

11月28日には広島で中国地方整備局に対して道路問題・河川改修などで交渉、福山市の道路問題では住民運動団体の代表も出席して要求を届けました。

さらに、12月1日には岡山で農政局、環境事務所に対して、有害鳥獣対策などで対策の強化を求めました。

めました。

ブロックでは、各地方議員から寄せられている要望について、年明けも含め引き続き、出先機関交渉を進める予定です。

鳥取県中部地震 地元党ボランティアの奮闘続く

鳥取県中部地震から1か月半が経過しようとしています。被災地では厳しい冬を迎えようとしており、「余震でも瓦が落ちた。根雪になることを考えると不安。屋根のシートも持つかどうか・・・」の声が寄せられています。

日本共産党鳥取県委員会は、この間4回の党ボランティアによる「訪問・聞き取り」活動を行うとともに、その声を行政に届けて一步一步改善を勝ち取っています。(写真は連日の様に発行されている被災者支援活動ニュース)

